

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp/> E-mail info@orgel-horie.or.jp

リプロデュースピアノ～ピアノロール II

1904 年にドイツの EDWIN WELTE と義兄の KARL BOCKISCH が画期的なピアノの自動演奏装置を発明しました。彼らの”再生方法”の発明を取り入れたリプロデュース・ピアノは WELTE-MIGNON と呼ばれています。その後、AMPICO や DUO-ART のように WELTE らの特許を取り入れたリプロデュース・ピアノが多くの会社で製造されました。

過ぎ去っていく物事を人間の力で留めることは不可能ですが、文学や絵画や彫刻はそれを将来に残していくことが出来ます。音楽はその手段として楽譜を用いています。五線譜による記譜法ですが、これは音そのものの記録ではありません。誰かが楽器でもって譜面通りに演奏して初めて音楽を聴くことが出来ます。

1877 年、エジソンによる蓄音機の発明は、音そのものの記録を可能にしました。しかし 1924 年の電気録音の発明まで、蓄音機の録音は演奏家を十分に満足させる質に達してはいませんでした。1904 年のリプロデュース・ピアノの出現は、演奏者それぞれの演奏を音としてではなく、データとしてピアノロールに残し、それをピアノに再現させる事を可能にしました。リプロデュース・ピアノは従来のプレイヤー・ピアノとは比較にならないほど繊細な音楽表現が再現出来たため、多くのピアニスト達がピアノロールに自分のピアノ演奏の記録を残しました。



Percy Grainger がピアノロールの監修をしている写真
右 Grainger 左 穿孔技師
The Pianola Institute より

1906 年、WELTE-MIGNON から GRIEG, PADEREWSKI, BUSONI, MAHLER らの演奏によるピアノロールが初めて発売されました。その後、リプロデュース・ピアノは隆盛期を迎えますが、1924 年の電気録音の発明による蓄音機とラジオの時代を迎えてから、あまりにも高価だったリプロデュース・ピアノは徐々に衰退し、1939 年には終焉を迎えます。

LARRY SISKY によって編集された “THE CLASSICAL REPRODUCING PIANO ROLL” によると約 1600 人のピアニストが 16000 曲のピアノロールの演奏に関わっていた事がわかります。WELTE-MIGNON, DUO-ART, AMPICO 3 社のリプロデュース・ピアノのピアノロールについて見ると、WELTE-MIGNON からは 3888 本、DUO-ART からは 2350 本、AMPICO からは 2045 本のピアノロールが発売されています。

DEBUSSY, FAURE, MAHLER, SAINT-SAËNS ら後期のロマン派の作曲家であった多くのピアニストが WELTE-MIGNON で演奏しています。AMPICO は RACHMANINOFF と専属契約を結ぶと同時に、LEVITZKI, NYIREGYHAZI, SAMAROFF ら将来有望な若いピアニストを登用しています。アメリカ最大のピアノ会社であった AEOLIAN COMPANY の DUO-ART は、最も人気のあった PADEREWSKI と HOFMANN と専属契約を結んでおり、他にもヨーロッパから多くのピアニストをアメリカに招待してピアノロールを作成しています。

さて、従来の自動ピアノであるプレイヤー・ピアノは、1900 年から 1930 年にかけてアメリカ全土で隆盛を極め、200 社もの自動ピアノの製造メーカーが存立しました。当時、自動ピアノとして 65.72. または 88-NOTE のものが用いられていましたが、1909 年の BUFFALO 会議で自動ピアノは 88-NOTE を使用すること、ピアノロールは幅 11 “1/4 インチとし、穴間隔は 1 インチに 9 穴とすること、と統一され、ピアノロールはどの自動ピアノでも演奏出来るようになりました。

1912 年に AMERICAN PIANO COMPANY は AMPICO 型式のリプロデュース・ピアノを、1914 年に AEOLIAN COMPANY は DUO-ART 型式のリプロデュース・ピアノを発表しました。これらのリプロデュースは 1909 年の BUFFALO 規格に従い、トラッカー・バーの中央の 88 個の空気を吸う穴は各鍵盤に対応しています。さらにその左右の位置に演奏の繊細なニュアンスを反映させるための信号を読み取る穴がつけられています。残念ながら、音の調節機構が AMPICO と DUO-ART で違う為に両者のピアノロールを共用することはできません。88 の鍵盤穴だけを持つプレイヤー・ピアノでは、これらピアノロールを演奏することは出来ますが、演奏のニュアンスを反映する機構がないため、それはピアニストが表現しようとした音楽を聴くということにはならないのです。

通常プログラム

1月3日(木)～3月31日(日)

部屋の中の日用品や家具にオルゴールを組み込んで、生活の一部としてオルゴールを楽しんだ時代を再現します。

毎週木曜～日曜（祝日）

① 10：30

② 13：00

③ 15：00

* 20名様以上の団体の方は事前予約で
火曜水曜も開館致します。

特別プログラム

RAGTIME & JAZZ

2月23日(土)24日(日)

3月2日(土)3日(日)

午後2時から

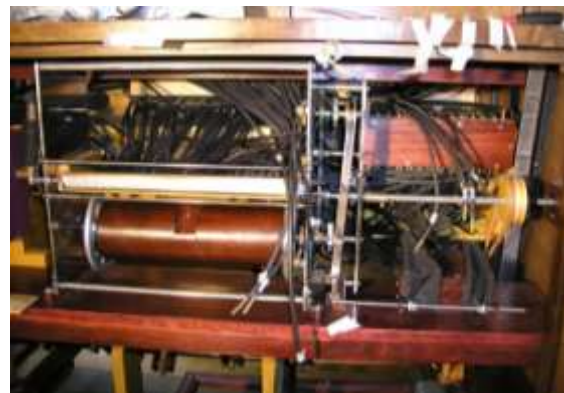
自動バンジョー及びプレイヤーピアノで
Scott Joplin から George Gershwin までの
ラグタイムとクラシックジャズの演奏会を
行います。

臨時休館のお知らせ

誠に勝手ながら 2013年3月24日(日)は
休館とさせていただきます。



オルゴール博物館ニュース



冬期休館中はオルゴールのディスクの整理や次回の特別演奏会で使用するバンジョーの修理、調整を行いました。